

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	重症児デイサービスdash（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和6年10月31日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	Q28) こどもは通所を楽しみにしていますか。	まず、スタッフ自身が通所したいと感じられる施設や雰囲気意識している。お子様が楽しく、毎日行きたいと思えるように、様々な活動や遊び、支援を行っている。	今後も新しい遊びや活動に挑戦し、ますます楽しみを持って通所できる事業所を作っていく。
2	Q21)定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	昨年度からFacebookからInstagramに替え、より事業所の活動を周知することができた。保護者様だけでなく、他事業所からのフォローも増えた。	今後も発信を続け、子どもたちのご様子や事業所の取り組みをアピールしていく。
3	Q4)生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	季節の装飾で飾り付けたり、こまめに掃除や消毒を行っている。また、整理整頓を心がけ、いざという時の避難も迅速に行えるように動線を意識している。また、アロマや音楽を流し、心地よい空間づくりをしている。	子どもたちが自ら玩具を片付けられる、わかりやすい環境を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	Q14)事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	ペアレントトレーニングの知識がある職員がいない。また、研修を実施するスキルも低い。他機関で実施されている研修会などのご案内は実施しているが、当事業所の利用者様に向けたものは少ない。	どういった研修をご希望か伺う機会を作っていければと思う。実施に関しては専門家に依頼が出来れば、実現できるかも知れない。
2	Q18)父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	ご要望があることは認識していますが、どのように実施すれば、より保護者同士やきょうだい児の交流になるのか、経験がないため実現できない。	他機関で実施している例を集め、実施の実現につなげていきたい。
3	Q11)放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	令和5年度から、近隣学童クラブさんと交流の機会を作っている。しかしながら、曜日の偏りや時間帯の課題がある。また、感染症の対策も必要なため、実施の機会が少ない。	感染症対策をしながら、短い時間でも交流できるように双方で対策を検討していきたい。